

保証書

この製品は、厳密な品質管理および検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店にかならず本保証書をご提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時にならず記入の有無をご確認ください。

商品名	GPS-22CR		
保証期間	※ お買い上げ年月日		1 年間
	年 月 日から		
※お客様	住所	〒 電話	
	氏名	様	
※販売店	店名	㊦	
	住所	〒 電話	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4丁目43番地4
商品についてのお問い合わせは……………マルハマサービス
TEL.045-251-2687



GPS/カーロケ帯受信機搭載
レーダー探知機

GPS-22CR

取扱説明書

〈保証書付〉

GPS-22CRをお買い上げいただき誠にありがとうございます
ございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくための
ガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお
読みになり、内容を十分理解された上でご使用くだ
さるようお願いします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照
ください。

目次








1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	3
3. 主な特長	4
4. 各部の名称とはたらき	5
5. 取付方法	6
6. 電源の接続・配線	7
7. 使用方法	
1. 操作方法	8
2. 各種機能の変更、設定	
(1)反応モードを変更する場合	11
(2)カーaoke機能を停止する場合	11
(3)登録されているオービスを区別し警告をカットしたいとき	12
3. オリジナルポイント（ユーザーメモリー）の登録のしかた	13
4. GPSによる反応の優先度	16
5. その他の機能	16
6. 別売オプション	16
8. 使用上のご注意	17
9. 故障とお考えになる前に	18
10. 主な仕様	19

1. 安全についてのお願いとご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を、“警告”として掲げています。次に、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の故障や損傷につながるおそれがある事項を“注意”として掲げています。また、“機能上の制約”についても説明しています。





警告

（人身の安全のためにお守りいただくこと）


-  ■ **運転の妨げにならない場所に取り付けてください。**
本機は、運転の妨げにならないように、フロントガラス（またはダッシュボード）に取り付けてください。
また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。
-  ■ **本機を濡らさないでください。**
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。
-  ■ **車を運転中に本機を操作しないでください。**
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心掛けてください。
-  ■ **ケースは絶対にあけないでください。**
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■ **スピードの出しすぎにご注意ください。**
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心掛けてください。
-  ■ **発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。**
これらの異常を検出した場合には、直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。（カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。）そのまま使用しますと、火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。
- 

⚠ 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)

-  ■衝撃や強い振動を加えないでください。
衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■動作範囲内の温度条件下でご使用ください。
本機は-10℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外でご使用になりますと故障の原因になります。
-  ■高温時の取り扱いにご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる際には、十分ご注意ください。
-  ■ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。

機能上の制約

-  ■日本国内で使用してください。
本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では電波方式が異なりますので、使用できません。
- GPS電波が受信できない場合はレーダー受信機／カーロケ帯受信機のための機能となります。
- 周囲の環境により、レーダー及びGPSの電波が受信しにくい場合があります。
前方に走行中の車（とくに大型車）がいる場合や、カーブ、坂道などでは、電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは、とくに注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車も受信しにくい場合があります。
- 取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。
取締レーダー波以外にも、同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドアおよび車両通過計測器、港湾、航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが、故障ではありません。

2. 製品の構成

お買上げいただいたGPS-22CRIは次の品目から構成されています。

- 本機 1台
- 取り付けステー 1個
- 吸盤 2個
- カー電源コード 1本
- コードクリップ 5個
- 取扱説明書兼保証書（本紙） 1枚

※本説明書を紛失、汚損された場合は、切手400円分を同封の上、弊社宛にご請求ください。

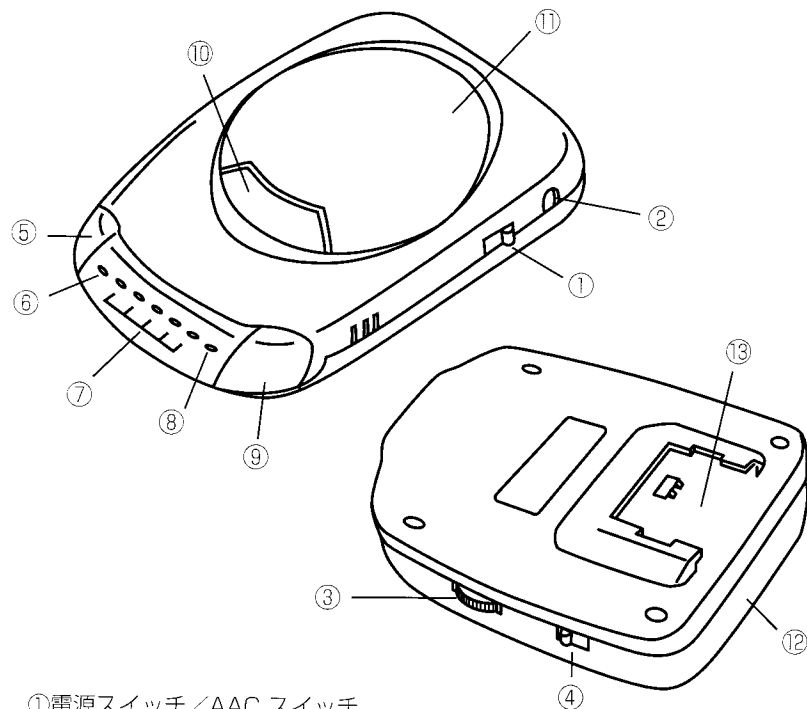
※別売のリピータ・アンテナについて

本製品を使用する際、天空が開いていないためGPS電波を受信できない車や、天空が開いていてもフロントガラス等に金属コーティング等の断熱ガラスを使用しているためGPS電波を受信しにくい車があります。このような場合は、別売のリピータアンテナをご使用していただくことにより、安定したGPS電波の受信が可能になります。尚、リピータアンテナのご購入に関しては弊社サービス部までお問い合わせください。

3. 主な特長

- GPSアンテナをセットに内蔵した一体型なので取扱いや設置が簡単
- 日本国内オービス位置をメモリーメモリーしてあるオービス位置に近づくとGPS電波による自車位置測定で音と光で警告。
- オリジナルポイント（20ヶ所）の登録が可能
一般道など、よく行われている取り締まり現場（ねずみ捕り）で登録をすれば、あなただけのオリジナルポイントがメモリーできます。
- オリジナルポイントの警告音のある／なしが設定可能
オリジナルポイント登録の際、ワンタッチで警告音のある／なしを設定できます。警告音なし設定の場合、レーダー波もカットしますので、自動ドア等普段よく鳴る場所でのわずらわしい不要な警告音を完全カットできます。
- 緊急車両のカーブケーターシステム電波が受信可能
緊急車両に搭載されている自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両へ進路を譲り、安全な走行ができます。
- 一般道／高速道路識別モード搭載
- オービス反応方位は±70°に設定
オービス登録点は位置データの他にも設置方位情報が登録しておりますので車両進行方向とは異なるオービスに反応しにくくなっています。
- GPSの受信状態が一目でわかるLED表示ランプ付
GPS電波を受信しているときは点灯
GPS電波を受信できないときは消灯（GPSによる警告はできません）
- レーダー部の感度はノーマル／スーパーを用意。状況にあわせ選択できます
- AAC（オートアラームカット）搭載
GPSによる車速測定により低速走行、停車時に警告音をカットするAAC機能搭載。
- ステルス／新Hシステム対応
新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD.D.C.回路によりクイックレスポンスを実現、微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。ステルス波を受信すると、通常とは異なる警告音で知らせます。
- 後方からのレーダー波もキャッチします。
- DC12V／24V対応

4. 各部の名称とはたらき

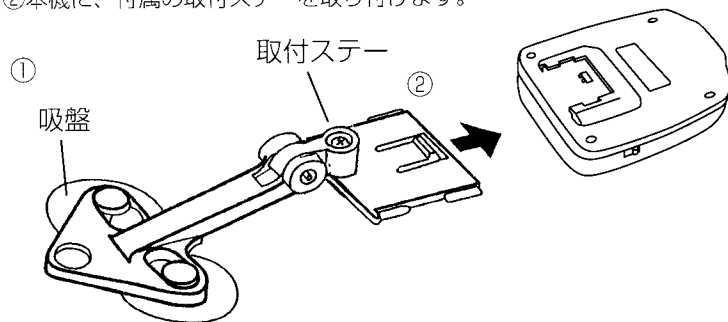


- ①電源スイッチ／AAC スイッチ
本体の電源をON/OFFします。さらにAACポジションでAAC（オートアラームカット）がONになります。
- ②電源ジャック（DC IN）
付属のカー電源コードを接続します。
- ③音量調節つまみ
警告音の音量を調節します。
- ④レーダー受信感度切替スイッチ（SENS）
レーダー波受信感度の設定。ノーマル（NORMAL）とスーパー（SUPER）の2モード。状況にあわせ選択してください。
- ⑤レーダーランプ（RADAR）
レーダー波を受信すると点灯します。レーダー波が最強になると点滅します。
- ⑥AAC／SETランプ
・通常動作モードではAAC ONで速度が30Km/h未満で赤色点灯（アラームカット表示）。速度が30km/h以上で緑色点灯（アラーム ON表示）。
・オリジナルポイント設定時、警告音のある、なし、消去を表示。

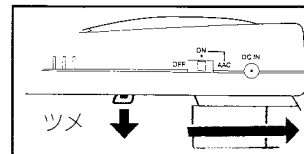
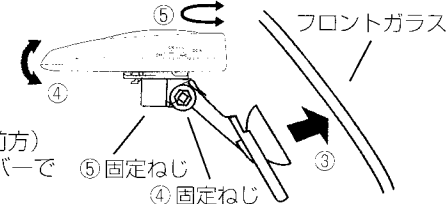
- ⑦アラームレベルメーター
レーダー波を受信すると点灯します。登録オービス位置に近づくと全点灯（5ヶ）します。オリジナルポイント登録点に近づくと登録したアドレス表示が点灯します（P13オリジナルポイント登録のしかた参照）。
カーロケ電波を受信すると両外側2個が点滅します。
- ⑧衛星ランプ（SATELLITE）
GPS電波の受信状態を表示します。
GPS電波を受信できない場合は消灯（GPSによる警告はできません）。
自車位置計算中は点滅（GPSによる警告はできません）。
GPS電波受信、自車位置確定時は、点灯（GPSによる警告が可能です）。
- ⑨GPSアラームランプ（GPS）
登録済みオービス地点またはオリジナルポイント登録点に接近すると点灯し、さらに近づくと点滅します。
- ⑩ミュート/テストボタン（MUTE/TEST）
警告音のテストボタン・レーダーまたはGPSによる警告音出力中は出力カット。
* MODE位置を、1.5秒以上の長押しで、オリジナルポイントの設定などを行うモードとなる。（設定モード）
* 設定モード時、ADR位置を押すとアドレス指定。
* 設定モード時、SET位置を押すと警告音のある／なし、登録未消を指定。
- ⑪GPSアンテナ部
人工衛星からのGPS電波を受信します。
- ⑫レーダーアンテナ部
レーダー波を受信します。
- ⑬取付ステー装着部

5. 取付方法

- ①付属の取付ステーに付属の吸盤を取り付けます。
②本機に、付属の取付ステーを取り付けます。



- ③吸盤により本機をフロントガラスに吸着させて、固定します。
* 吸盤に水などをつけると吸着させやすくなります。
- ④本体の角度を地面と水平になるように調節し⊕ドライバーで固定ねじをしっかりと固定してください。
- ⑤レーダーアンテナ部が進行方向（前方）を向くように左右角度を⊕ドライバーで固定してください。



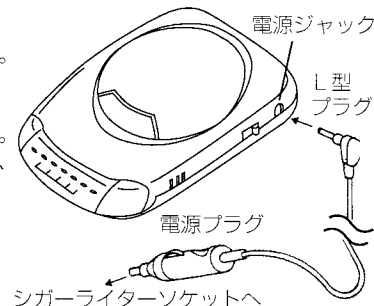
* 取付ステーを取り外すときは、取付ステーの下側のツメを軽く押し下げて、横にスライドしてください。

ご注意

- レーダー波受信部やGPSアンテナ部に、金属やゴムなどの障害物がこない場所に取り付けてください。
- 天空の開いている場所に設置し、GPS電波を受信しやすいようにしてください。
- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- 取り付けの際に本機が落下しないようにしてください。
- 本体がフロントガラスに触れないようにしてください。

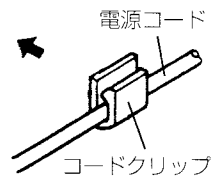
6. 電源の接続・配線

- ①付属のカー電源コードにて接続します。
②本体の電源スイッチはOFFにしておきます。
③電源コードのL型プラグ側を本体の電源ジャックに差し込み、電源プラグ側を車のシガーライターソケットに差し込みます。
④付属のコードクリップのはくり紙をはがし、配線する場所へ貼り付け、コードクリップの溝に電源コードをはさみ込んで固定します。



ご注意

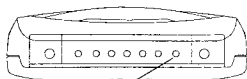
- シガーライターソケットが汚れていると、接触不良の原因となりますのでよく掃除をしてから取付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。
- 電源コードは絶対に途中で切断したり、折り曲げたり、束ねたりしないでください。ショート等により、本製品や車が破損する場合があります。
- 接続、配線は運転の支障のない安全な場所を選び、車のエンジンを切っておこなってください。



7. 使用方法

1. 操作方法

(1) 取り付けと配線が完了しましたら、視界の広い場所に車を駐車し、本体の電源スイッチをONにします。ONにすると“ピッピッピ”とアラームが3回鳴り電源が入ったことをお知らせします。



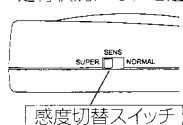
衛星ランプ(SATELLITE)点灯

(2) 衛星ランプが点灯することを確認してください。

衛星ランプは最初、消灯しており、しばらくすると点滅し、その後点灯します。この間、衛星ランプが点灯するまで3分程度かかりますが、場合によっては長くなることもあります。このような場合は取り付け場所を変えるか、天空の開いている場所へ移動して、GPS電波を受信しやすいようにしてください。特に購入して初めて電源を入れたときや、長時間使用しなかったときは、点灯するまでに時間がかかる場合があります。

(3) レーダー波受信の感度を設定します。

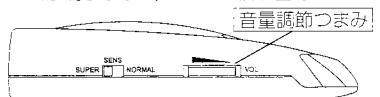
感度切替スイッチはSUPER(スーパー)/NORMAL(ノーマル)の2ポジションあります。走行状況にあわせ選択してください。



・SUPER(スーパー)……アラーム感度が敏感なポジションです。高速走行時に適しています。
 ・NORMAL(ノーマル)……アラーム感度をスーパーよりやや落としています。市街地走行に頻りにアラームが鳴る場合などに適しています。

(4) 音量の設定

MUTE/TESTボタンを短く押すとテストアラームが鳴ります(レーダー波や登録オービスの警告音が鳴っていないとき)。この時に音量調節つまみを回し音量を調節してください。(手前に回すと音量は小さくなります)



(5) AAC(オートアラームカット)の設定

本製品はGPSによる車速測定により低速走行、停車時に警告音カットするAAC(オートアラームカット)機能を有していますので、自動ドア等レーダー波でない不要な警告音をカットできます。

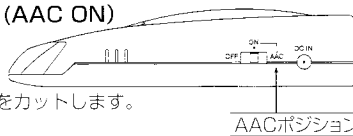
●使用方法

①電源スイッチをAACポジションにします。(AAC ON)

②AACの動作確認

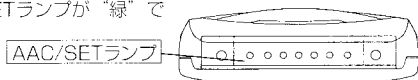
①車を停車します(アイドリング状態)

AAC/SETランプが“赤”で点灯し、警告音をカットします。



②車を走行させます。

30km/h以上で走行するとAAC/SETランプが“緑”で点灯し、警告音はカットされません。



③車の速度を落とします

30km/h未満になるとAAC/SETランプが“赤”で点灯し、警告音をカットします。

③AAC使用上のご注意

- ・AACがOFF(電源スイッチONポジションのとき)のときはAAC機能が働かずAAC/SETランプは“橙”で点灯し、アラームのカットはしません。
- ・衛星ランプが消灯または点滅しているときは、AACがONでもAAC機能は働かずAAC/SETランプは“緑”で点灯し、アラームのカットはしません。

(6) レーダー波を受信すると

走行中レーダー波を受信した場合は、警告音およびレーダーランプ、アラームレベルメーターによりレーダー波の受信をお知らせします。レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、警告音、アラームレベルメーターが変化します。また、ステルス波を受信した場合は通常とは異なる警告を行います。

	通常のレーダー波	ステルス波
警告音	電波が強くなるにつれて鳴る音調が短くなります。 “ピッ”	強い電波を受信したとき鳴ります。 “ビビ”
レーダーランプ	電波を受信すると点灯。 電波の強度が最強になると点滅。	点滅します。
アラームレベルメーター	電波が強くなるにつれて段階的にランプの数が多く点灯します。電波が最強でランプが流れるように点灯します。	ランプが流れるように点灯します。

*ステルス取締機について: 他の取締機と同じ電波を使用していますが、事前に探知されないように、普段は電波を出さず、取り締まりのときに、短時間強い電波を放射して速度を測定する狙い撃ち的な取締方法です。

ご注意

- 本製品はステルス取締機に対して完全に対応するものではありません。先頭を走行する場合は、くれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルスアラームが鳴る場合があります。
- 前方に走行中の車(とくに大型車)がある場合や、コーナ、坂道では、電波が遮断されるため、レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 電波式の自動ドア等取り締まりレーダー波以外でも同一周波数、同一種類の電波を使用している機器に反応する場合がありますが、誤作動ではありませんので、ご了承ください。

(7) オービス登録位置に接近すると

本製品にあらかじめ登録されているオービスに近づくと、警告音およびGPSアラームランプ、アラームレベルメーターで接近したことをお知らせします。警告音、警告ランプは走行速度や登録ポイントに近づくと、遠ざかるにより、警告方法が少し異なります。下表を参考にしてください。

	登録点からの距離	走行速度80km/h以上	走行速度5~80km/h未満	走行速度5km/h未満
警告音	1200m以内	接近で“ピヨロ”遠ざかると鳴らない	鳴らない	鳴らない
	800m以内	接近で“ピヨロ”遠ざかると鳴らない	接近で“ピヨロ”遠ざかると鳴らない	鳴らない
	250m以内	“ピヨロ”の鳴る気配が短くなります。	“ピヨロ”の鳴る間隔が短くなります。	“ピヨロ”
GPSアラームランプ	1200m以内	点灯	消灯	消灯
	800m以内	点灯	点灯	点灯
	250m以内	点滅	点滅	点滅
アラームレベルメーター(その後デマ)※1	1200m以内	ランプ5ヶ全点灯	消灯	消灯
	800m以内	ランプ5ヶ全点灯	ランプ5ヶ全点灯	ランプ5ヶ全点灯
	250m以内			

※1 デイマとはランプの明るさが弱まることをいいます。

ご注意

- GPS警告は本製品の衛星ランプが消灯または点滅していますと動作しません。(GPS電波を受信していない場合や受信しても自車位置を確定していないとき)。一般にトンネル、森林の多い山麓部、高層建築物の近く、高架道路の下などはGPS電波を受信しにくいことがあります。
- AACがONで車速が30km/h未満のときはオートアラームカットが働いてGPS警告音はカットされます。

(8) 登録されているオービスがレーダー波式の場合は

登録されている取締機がレーダー波を放射している場合の警告はレーダー波の警告を優先するため、GPS警告音はカットされます。
但し、GPSアラームランプは点灯/点滅しますのでGPS警告の確認はできます。

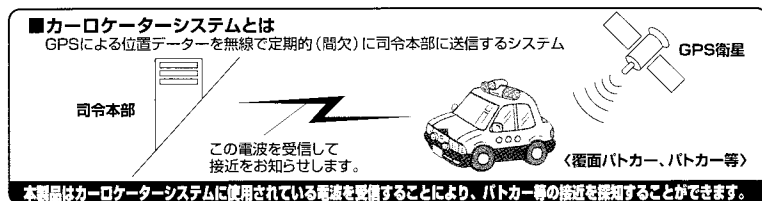
(9) カーロケーターシステム電波を受信すると

本製品は、緊急車両（覆面パトカー、パトカー等）の接近をお知らせするカーロケ帯受信機能が搭載されています。カーロケーター電波を受信すると3秒間警告音とランプでお知らせします。

	カーロケーター電波
警告音	カーロケーター専用アラームが鳴ります。(ピリピリ)
アラームレベルメーター	両外側2個が点滅します。

※反応しにくい場合は、反応モード②に設定してください。
(設定方法はP11 反応モードを変更する場合参照)

カーロケーターシステムとは



ご注意

- カーロケーター電波は間欠に発射していますので、本製品は一度電波を受信すると3秒間だけ警告をするシステムとなっています。
- カーロケーター受信範囲は半径数百m位です。ただし、電波状況、道路状況により変動する場合があります。
- カーロケーターシステムは全地域、全車両に導入されているわけではありませんので、注意が必要です。
- カーロケーター受信機能は停止することができます。
(P11、カーコケ機能を停止する場合参照)

2. 各種機能の変更、設定

(1) 反応モードを変更する場合

本製品はカーロケーターシステム受信の反応モードを変更することができます。状況にあわせ変更してください。

●設定方法

<反応モード①>……お買い上げ時の設定です。

1 初期化をします。

MUTE/TEST ボタンのADR位置を押しながら電源を入れます。
(アラームレベルメーターが左右に点灯します)

2 “ADR” 位置を押すのをやめます。

(アラームレベルメーターが点灯している間に行ってください)

3 “SET” 位置を押し続けます。

(アラームレベルメーターが点灯している間に行ってください)

4 初期化終了したら (アラームレベルメーターが消灯) ボタンを押すのをやめます。

<反応モード②>……反応モード①より反応を鋭くします。

1 初期化をします。

MUTE/TEST ボタンのADR位置を押しながら電源を入れます。
(アラームレベルメーターが左右に点灯します)

2 “ADR” 位置を押すのをやめます。

(アラームレベルメーターが点灯している間に行ってください)

3 再度 “ADR” 位置を押し続けます。

(アラームレベルメーターが点灯している間に行ってください)

4 初期化終了したら (アラームレベルメーターが消灯) ボタンを押すのをやめます。

(2) カーロケ機能を停止する場合

1 初期化をします。

MUTE/TEST ボタンのADR位置を押しながら電源を入れます。
(アラームレベルメーターが左右に点灯します)

2 さらに “SET” 位置を押し続けます。(ADR位置も押し続けます)

(アラームレベルメーターが点灯している間に行ってください)

3 初期化終了したら (アラームレベルメーターが消灯) ボタンを押すのをやめます。

再度ONにする場合は ……上記(1)の反応モード①または②、どちらかの設定をします。

③登録されているオービスを区別し警告をカットしたいとき

本製品はあらかじめオービスポイントが登録されていますが、(全ポイント反応する/高速道路のみ反応する/一般道のみ反応する)の3モードを選択できますのでオービスを区別して不要な警告をカットすることができます。

●設定方法

- 〈全オービスに反応〉…お買い上げ時は全オービスに設定
 - ・電源をONにする(その他の操作はしない)
- 〈高速道路のみ反応〉※
 - ・MUTE/TESTボタンのMODE位置を押しながら電源をONにします。
- 〈一般道のみ反応〉
 - ・MUTE/TESTボタンのSET位置を押しながら電源をONにします。

解除するには…お買い上げ時にもどす。
一度電源をOFFにし、再度電源を入れます。

※本製品では高速道路の指定は下記としてあります。

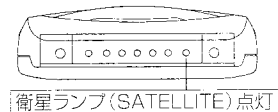
道央自動車道	北陸自動車道
東北自動車道	東名阪自動車道
秋田自動車道	名神高速道路
山形自動車道	近畿自動車道
常磐自動車道	阪和自動車道
館山自動車道	阪神高速道路
千葉東金道路	第2神明加古川バイパス
東関東自動車道	神戸淡路鳴戸自動車道
関越自動車道	中国自動車道
上信越自動車道	山陽自動車道
首都高速道路	米子自動車道
第三京浜道路	浜田自動車道
横浜横須賀道路	高松自動車道
東京外環自動車道	松山自動車道
中央自動車道	福岡都市高速
長野自動車道	九州自動車道
東名高速道路	大分自動車道
東海北陸自動車道	長崎自動車道
名古屋高速道路	宮崎自動車道
南知多道路	沖縄自動車道
能登有料道路	

3. オリジナルポイント(ユーザーメモリー)の登録のしかた

本製品はあらかじめ登録してあるオービス位置の他に20ポイント任意に登録することができます。新設等で本製品に入力されていないオービス位置や目的地登録をすれば、あなただけのオリジナルポイントがメモリーできます。また、登録点は警告音の“ある”“なし”を設定できます。警告音“なし”設定の場合レーダー波もカットしますので、自動ドア等の不要な電波も完全にキャンセルできます。

(1)登録方法

1. 登録したい地点にて車を駐車します。

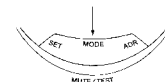


衛星ランプ(SATELLITE)点灯

- ・このとき、衛星ランプが点灯していることを確認してください。
消灯、点滅している場合は登録できません。

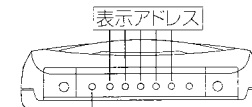
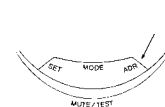
2. MUTE/TESTボタンのMODE位置を長く押しします。(1.5秒以上)

- ・“ビポポ”とアラームが鳴り設定モードに入ったことをお知らせします。



3. MUTE/TESTボタンのADR位置を短く押して登録する場所を決めます。

- ・ADR位置を押す度にアドレスが変化します。
アドレスは全部で20あり、アラームレベルメーターで表示されますので登録したいアドレスに合わせてください。(下図参照)
このとき、表示アドレスに対しAAC/SETランプが消灯している場所を選んでください。



表示アドレス
AAC/SETランプ消灯

アドレス1	○●●●●	アドレス11	☆●●●●
アドレス2	●○●●●	アドレス12	●☆●●●
アドレス3	●●○●●	アドレス13	●●☆●●
アドレス4	●●●○●	アドレス14	●●●☆●
アドレス5	●●●●○	アドレス15	●●●●☆
アドレス6	●○●●○	アドレス16	●☆☆☆☆
アドレス7	○●●●○	アドレス17	☆●☆☆☆
アドレス8	○●●●○	アドレス18	☆☆●☆☆
アドレス9	○●●●○	アドレス19	☆☆☆☆☆
アドレス10	○●●●●	アドレス20	☆☆☆☆☆

○は点灯 ●は消灯 ☆は点滅

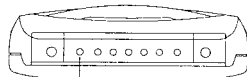
【注意】

- ここでの設定では設定モードに入ったとき、表示アドレスに対しAAC/SETランプが最初に消灯していることが条件となります。亦または緑に点灯しているときは、以前どこかの地点で登録した可能性がありますので現在の登録できません。
この場合は、AAC・SETランプが消えるアドレスに移動するか、オリジナルポイントの経集及消去を参照して、一度、消灯にし消去してから設定してください。上書きはできません。
- お買い上げ時は消去(消灯)に設定されています。

4. MUTE/TESTボタンのSET位置を短く押して登録ポイントでの警告音の“ある”“なし”を設定します。

SET位置を押す度にAAC/SETランプが緑→消灯→赤→消灯→緑と変化します。

- 登録ポイントで警告音を出したい場合は“緑”に設定してください。
- 登録ポイントで警告音を出さない場合は“赤”に設定してください。
(自動ドア等の不要電波をキャンセルする場合に便利です。)



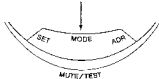
AAC/SETランプ

ご注意

- 衛星ランプが消灯、点滅しているときは設定不能となります。
- SETボタンを押しても無効操作となり“ブー”音が鳴ります。

5. 設定内容の確定:MUTE/TESTボタンのMODE位置を長く押しします。(1.5秒以上)

“ピポポ”とアラームが鳴り登録内容が確定され、通常動作モードに戻ります。



ご注意

- 設定モードで30秒間なにも操作しなせんと、それまでの設定は全て無効となり“ブー”音とともに元の状態に戻ります。

(2)オリジナルポイント(ユーザーメモリー)の編集及び消去

登録アドレスの設定時、表示アドレスに対し最初AAC/SETランプが“赤”または“緑”に点灯しているときは、過去にどこかの地点で登録操作をしたことを示します。ここでの操作は当時の登録内容を変更したり消去をしますので、登録地点へ行かなくても設定できます。

1. MUTE/TESTボタンのMODE位置を長く押しします。(1.5秒以上)

“ピポポ”とアラームが鳴り設定モードに入ったことをお知らせします。

2. MUTE/TESTボタンのADR位置を短く押して変更するアドレスを選びます。

ADR位置を押す度に登録アドレスが変化しますので、変更したい場所に合わせます。
(表示アドレス番号は(1)登録方法を参照)

3. MUTE/TESTボタンのSET位置を短く押して過去に登録した内容を変更します。

SET位置を押す度にAAC/SETランプが緑→消灯→赤→消灯→緑と変化します。

- 過去に登録したポイントで警告音の“ある”から“なし”に変更したい場合は“赤”に設定します。
- 過去に登録したポイントで警告音の“なし”から“ある”に変更したい場合は“緑”に設定します。
- 過去に登録したポイントを抹消したい場合はランプを消灯に設定します。

4. 編集内容の確定:MUTE/TESTボタンのMODE位置を長く押しします(1.5秒以上)

“ピポポ”とアラームが鳴り編集内容が確定され、通常動作モードに戻ります。

ご注意

- ここでの設定は現在位置を登録することではありません。表示アドレスに対して現在位置を登録する場合は、抹消登録にして(AAC/SETランプを消灯)設定を確定させ再度(1)登録方法に従って操作を行ってください。
- 設定モードで30秒間なにも操作しなせんと、それまでの設定は全て無効になり“ブー”音とともに元の状態に戻ります。

(3)オリジナルポイント(ユーザーメモリー)登録位置に接近すると

オリジナルポイント登録をした地点に近づくと、警告音およびGPSアラームランプ、アラームレベルメーターで接近したことをお知らせします。

警告音、警告ランプは走行速度や登録ポイントに近づくと、遠ざかるにより、警告方法が少し異なります。下表を参考にしてください。

	登録点からの距離	走行速度80km/h以上	走行速度5~80km/h未満	走行速度5km/h未満
警告音	1200m以内	接近で“ピュルリ” 遠ざかると鳴らない	鳴らない	鳴らない
	800m以内	接近で“ピュルリ” 遠ざかると鳴らない	接近で“ピュルリ” 遠ざかると鳴らない	鳴らない
	250m以内	接近で“ピュルリ”の鳴る間隔が短くなります。 遠ざかると鳴らない	接近で“ピュルリ”の鳴る間隔が短くなります。 遠ざかると鳴らない	鳴らない
GPSアラームランプ	1200m以内		消灯	消灯
	800m以内	点灯	点灯	点灯
	250m以内	点滅	点滅	点滅
アラームレベルメーター(その数デマ)※1	1200m以内		消灯	消灯
	800m以内	登録したアドレス表示が点灯	登録したアドレス表示が点灯	登録したアドレス表示が点灯

*1デマとはランプの明るさが弱まることをいいます。

ご注意

- 警告音を“なし”とした場合は音は鳴らず、ランプのみの警告となります。
- AACがONで車速が30km/h未満のときはオートアラームカットが働いてGPS警告音はカットされます。

4. GPSによる反応の優先度

本製品はGPSによる警報距離範囲に複数の登録点が存在する場合、優先順位を決めてあります。以下が優先順位で①が一番高いです。

- ① 接近するオリジナルポイント登録点（警告音の“ある”“なし”に無関係）
- ② 遠ざかる警告音“なし”としたオリジナルポイント登録点
- ③ 250m以内にある反応方位内のオービス登録点（接近／遠ざかるに無関係）
- ④ 接近する反応方位内のオービス登録点

ご注意

- オービス登録点近くにオリジナルポイント登録点があるとオービス登録点には反応しません。
- 反応方位とは進行方向に対しての反応角度です。
本製品は±70°に設定されています。

5. その他の機能

- オートミュート機能
レーダー波受信時に最強音が10秒続かレーダー波を15秒連続で受信すると、自動的に警告音の音量が小さくなります。ステルス波受信の場合は5秒続くと音量が小さくなります。
- ミュート機能
レーダー及びGPSによる警告音が不要になった場合はMUTE/TESTボタンを押すと警告音がカットされます。
- オートディマー
レーダー波受信時にアラームレベルメーターの全灯が10秒続かメーター点灯が20秒続くと自動的にアラームレベルメーターの明るさが弱まります。

6. 別売オプション

ST-10（盗撮防止ストロボ付ステー）

- 赤外線ストロボ発光することにより、赤外線カメラがハレーションを起こし、盗撮を防ぎます。

8. 使用上のご注意

- 本製品はGPS電波が受信可能な場所に設置して下さい。また地理的状況などにより、GPS電波を受信しにくい時や、受信できない場所があります。（トンネルの中、高層ビルに囲まれた場所、高い樹木に囲まれた場所、2～3層の構造の道路の下など）
- 本製品はレーダー波を使用していないオービス取り締まり機（ループコイル式、LHシステム、光電管式）をGPS測位機能で検知、警告します。GPS電波を受信できない状況下では、レーダー探知機能のみの機能となります。
- 金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車はGPS電波を受信しにくい場合があります。
- オービス登録点は常に最新データを登録しておりますが、諸般の事情により万一、位置ズレ、新設・廃止等による位置データの異差が生じた場合は、お手数ですが、お客様ご自身によるオリジナルポイント登録で対応していただき、安全運転されることをお願い申し上げます。
- 初めて電源を入れたとき、アラームレベルメーターが左右に往復して点灯する場合があります。これはセットの初期化を行っているので故障ではありません。あまり頻繁に初期化を行うようであれば、内部のバックアップ用のバッテリーが減っている場合が考えられます。この場合は10時間以上通電状態として内部バッテリーを充電して下さい。
※ADR位置を押しながら電源をONすると強制的に初期化が行われます。この時、衛星軌道情報や位置情報等がクリアされるので自車位置が確定するまで時間がかかります。（オリジナルポイント登録点はクリアされません）
- GPSレシーバーは非常に精密な部品によって構成されています。本体の熱が上昇すると最初の衛星が捕捉しにくくなり、自車位置確定に時間がかかります。場合によっては故障することもありますので、真夏など停車中にセットの温度が上昇する事が予想される場合は断熱シートをかぶせたり、温度の上がりにくい場所に本製品を移動してください。
- 本製品は電源をOFFとしてもGPS衛星軌道情報やラスト位置等がバックアップされます。次に電源をONとする場所がラスト位置と大きく異なると衛星捕捉に時間がかかり、自車位置確定までに時間がかかります。したがって、電源がOFFのまま、車両を移動することは好ましくありません。
- 衛星ランプが消灯または点滅している状態で高速走行をすると自車位置確定までに時間がかかる場合があります。衛星ランプが点灯しない場合は一度車を停車して衛星ランプが点灯してから走行してください。
- 高速道路路上に設置されているオービスの側道等を走行中も、GPSによる警告を発します。これは登録ポイントに近づいている為で誤作動ではありません。
- 本製品は日本国内で正常に動作します。日本以外の国ではGPS動作が保証外となります。またレーダー周波数が異なる場合があります。
- 本製品はGPSによる誤作動対策の“GPS対応”とは違います。
- 本製品を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心掛けて下さい。
- 仕様および外観の一部を予告なく変更する場合があります。

9. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じた時は、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の電源ジャックにしっかりと差し込まれていない。 ●シガーライターソケットの汚れによる接触不良（2～3回まわしながら差し込んでください。） ●シガーライターソケットに電源がきていない。（シガーライターを差し込んで赤熱することを確認してください。） ●シガーライタープラグのヒューズが切れている。（新しいヒューズと交換してください。）
取り締り機に接近しても反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ●GPS電波を受信していない。（衛星ランプが点灯していますか） ●本製品に登録されていないオービス、またはスピード取り締り機でないシステム（Nシステム等）である。（取り締り機で反応しない場合はオリジナルポイント登録をおすすめします）
取り締まり以外で警告音が鳴る	●取り締りレーダー波以外にも同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響
車のキーを抜いても電源が切れない	●車のキーを抜いてもシガーソケットの電源が切れない車があります。（長時間運転しない場合はプラグを抜いてください）

10. 主な仕様

GPS部

項 目	条 件	規 格	備 考
受 信 部	受信周波数	1.57542GHz	
	追尾コード	C/Aコード	
	受信チャンネル	12チャンネル/パラレル	
メ モ リ	オービス登録点	登録数 約600箇所 登録種類 レーダー、ループ	ROMに固定
	ユーザー登録点	最大登録数 20ポイント	書換可能ROM
	警報距離	一般警報距離 80km/h以上 1200m 80km/h未満 800m	
反応方位	—	進行方位と設置方位とが±70度以内	登録オービス
警報反応	位置表示	アラームレベルメーターで表示	
	アラーム音	緊急警報距離になるとピッチ変化	ブザー音

レーダー部

項 目	条 件	規 格	備 考
受信方式	—	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信周波数	Xバンド	10.525GHz	X、K自動判別
	Kバンド	24.15GHz	
受信感度	Xバンド	スレッ：-95dBm以下 ノイズ：-92dBm以下	
	Kバンド	スレッ：-90dBm以下 ノイズ：-87dBm以下	
警 告 音	レーダー波	アラーム音1（信号強度にてピッチ変化）	
	ステルス波	アラーム音2（信号強度にてピッチ変化）	
警告表示	LED	5点バーグラフ（信号強度にて変化）	
AAC機能	GPS衛星捕捉時	30km/h未満走行で作動	

カーロケータ部：407.7MHz帯の1波

共通部

動作環境	保存温度	-20℃~+70℃	
	使用温度	-10℃~+60℃	
電 源	電圧	DC12V~24V	
	電流	150mA	
質 量	—	80g	
サイズ	本体 (mm)	74 (W) ×24 (H) ×106 (D)	突起部含まず

保証規定

1. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料でご修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、本機に保証書を添えて、お買い上げ販売店にお持ちください。
3. 修理品のご持参・お持ち帰り時の交通費および諸経費は、お客様のご負担となります。
4. 次のような場合には保証期間内であっても有料修理となります。
 - （イ）使用上の誤り、本機に改造を加えたことによる故障、またはお買い上げ店以外で修理されたことによる故障や損傷
 - （ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
 - （ハ）火災、地震、水害、公害、規定外の電源（電圧・周波数）の使用、その他天災地変などによる故障および損傷
 - （ニ）保証書のご提示が無い場合
 - （ホ）保証書の指定事項の未記入、あるいは字句が書き替えられている場合
5. 修理のとき一部代替部品を使わせていただくことや、修理が困難な場合には、同等品と交換させていただくことがあります。
6. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

修理メモ